学校番号	３１０

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の地理総合　（帝国書院）						
副教材等	〈2026〉【ﾃﾞｼﾞﾀﾙ(ｸﾗｳﾄﾞ版)＋書籍セット】新詳地理資料 COMPLETE2026（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理について学びますが、それは、現代世界がどのようになっているかを学ぶことでもあります。山や川、緯度や大陸など条件が、我々の生活にどのように関連があるかを学ぶとともに、そこに住む人々に注目をしてください。そして、学習したことを自分たちの住む地域と照らし合わせながら、主体的に学び、その知識を生かして主体的な活動につなげてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界や日本の中での自らの立ち位置を把握し、多角的な視点から物事を考察する能力を養う。
地図やグラフ、写真の読み取りができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
地理的事象にいて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
地理的事象について、主体的に追求し課題を見出すことができるようになる。
世界の文化や社会の多様性を広くうけとめる寛容さを培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関する情報を取り出したり、再構築したりするための基礎となる知識・概念を蓄え、着実に積み上げている。世界や日本の地理上の諸課題を自らの問題ととらえ、解決策を模索的に思考し、主体的な判断を通じて、自らの意見として表現できている。	世界や日本の地理上の諸課題を自らの問題ととらえ、解決策を模索的に思考し、主体的な判断を通じて、自らの意見として表現できている。	世界の中の日本、あるいは日本の中の自らの居住地域といった自己と社会とのつながりを意識し、世界や日本の地理的問題に関心をもって学習し、探求に努めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1部1章	1章の目標 ①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 ②各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的･多角的に考察し，表現する。 ③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだす。	a：地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b：各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

	1部2章	2章の目標 ①世界を構成する国家の領域の定め方や，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解する。 日本を含む、国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につける。 ②国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現する。日本においても排他的経済水域等の問題を扱いながら、それらの問題について考察し、表現する。 ③国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴、世界や日本の領域をめぐるさまざまな問題について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだす。	a：世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につけている。また、日本の位置や領域の特徴を理解している。 b：国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現している。また、排他的経済水域や領土をめぐる問題に着目しながら、日本の位置や領域にどのような特徴があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。 世界や日本の国家の領域をめぐるさまざまな問題について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

2学期	2部1章	1章の目標 ①世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につける。 ②地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 ③世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだす。	a:世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

	2部2章	2章の目標 ①地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につける。 ②地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 ③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだす。	a:地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

3学期	3部1章	1章の目標 ①自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解する。 自然災害が生じる場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につける。 ②どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 ③自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだす。	a:自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

	3部2章	2章の目標 ①生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたについての技能を身につける。 ②事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや，現地調査の結果をどのように分析・整理するのか，他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 ③生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだす。	a:生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたについての技能を身につけている。 b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや，現地調査の結果をどのように分析・整理するのか，他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度